

# はつかいち福祉ねっと通信

No.29

発行 はつかいち福祉ねっと事務局(廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ)

連絡先 TEL(0829)20-0224/FAX(0829)20-0225/E-mail [fukushi-soudancenter@h-kiraria.net](mailto:fukushi-soudancenter@h-kiraria.net)

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kiraria/>

「ねっと通信」の個人宛メール配信希望者、募集中!

## はつかいち福祉ねっと活動報告

### 全体会

7月3日(金)、今年度第1回はつかいち福祉ねっと全体会をあいプラザ多目的ホールで開催しました。



#### 【プログラム】

午前 : きらりあ活動報告

当事者発表(くさのみ作業所: 銀河鉄道999)

各部会・ワーキングの今年度の取り組みについて

行政報告(福祉計画完成報告・今後の計画検証について)

情報提供コーナー

事業所紹介(ふれあいライフ原)

昼休憩: 作業所の作品・製品の展示販売

DVD「命のことづけ～死亡率2倍障がいのある人たちの3.11～」上映

午後 : 研修「知的障害疑似体験講座ひろしまあび隊」



ノリノリ♪すてきなダンス♪  
くさのみ作業所のみなさん



今回は、午前午後の長時間にわたる全体会でしたが、98名の方にご参加いただき、午前中はつかいち福祉ねっとの取り組み状況をみなさんで共有し、午後からはひろしまあび隊の方を講師にユニークでわかりやすい進行のもと知的障がいのある人の疑似体験をおこないました。

その他、全体会はじめての取り組みとして、昼休憩に廿日市市内作業所の作品・製品の展示販売とDVD「命のことづけ～死亡率2倍障がいのある人たちの3.11～」上映を行いました。会場のあちこちで、賑やかに交流や情報交換がおこなわれていました。



はつかいち福祉ねっとでは、「障がいのある人、ひとりひとりの願いを大切に、誰もが社会の一員として、真に地域の中で安心していきいきと暮らしていくことをのぞける廿日市市」をめざし、今後もみなさんとともにネットワークづくりや課題解決に取り組んでいきたいと思っております。

## 部会代表者会議

今年度の部会代表者会議代表（＝はつかいち福祉ねっと代表）は、こども部会の岩見亜矢さん、副代表は、身体障がい部会の秋保喜美子さんです。任期は来年5月末までとなっておりますので、みなさまよろしく申し上げます。

今年度は、昨年度策定した“第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画”をPDCAサイクルの流れで推進していく初年度となります。年7回の部会代表者会議の内2回は、計画推進に特化したテーマで意見交換等を行うため、障がい別会議のみなさんにも合流いただくこととなりました。初めての経験に、手探り状態での取り組みとなりますが、みんなで協力し、がんばっていきたいと思います。



## 障がい別会議

### 身体障がい部会

5月、6月の部会には、「広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備について」当事者のみなさんの意見が聞きたいということで、廿日市市施設整備課の方が参加されました。音声案内、点字ブロック、多機能トイレ等について活発な意見交換ができました。

7月23日（木）には、おりづる出前教室（in広島ひかり園）を開催しました。今回は在宅で生活している当事者の方も広島ひかり園におじゃまし、入所者のみなさんといっしょにレクリエーションスポーツ（スポーツ吹き矢、ポッチャ等）を楽しみました。



### 知的障がい部会

5月13日（水）の部会では、「PIECE宮内キャリアサポート」「SAIさん家」を見学させていただきました。道中の情報交換も楽しく、実りある見学となりました。

また、スポーツ交流センターおりづるのスポーツ指導員さんにお越しいただく「おりづる出前教室（ゆるゆるピクス）」は、6月2日（火）に友和の里、6月12日（金）にくさのみ作業所で行いました。当日は、音楽に合わせて身体を動かしたり、新聞紙をみんなでちぎって集めるゲームをしたりで、みなさん大いに盛り上がりました。



### 精神障がい部会

毎年恒例で行っている交流企画について、当事者の方々と話し合いをしながら進めてきています。たくさんの企画案が出た中で、今年は11月11日に安佐動物園に行くことになりました。チラシ作り、弁当の手配、動物園でのレクリエーション企画など、みんなで役割分担をしながら進めてきています。久しぶりに行く動物園にみんな少しワクワクしています。

## こども部会

「色々な方たちに身近に感じてもらいたい」ということで、今年度から、「児童部会」は「こども部会」に名称変更し、はりきっています！



こども部会では、長期休暇中の余暇活動の場づくりに取り組んでおり、7月30日（木）、8月1日（土）、8月22日（土）におりづる出前教室を開催しました。内容は、ビンボーリング、輪投げ、ディスクゲッター、ディスクゴルフなどで、子どもたちは、夢中になって楽しんでいました。

また、例年、保護者で企画、当日の進行をしていた夏休み工作教室を今年度初めて、友和の里さんと共催させていただきました。7月27日（月）にガラスアート（表札）、8月10日（月）にクレイデコ（ホワイトボード）をし、職員さんに作り方を分かりやすく教えていただき、みんな良い作品が完成しました。会場提供や送迎についてもご協力いただき、友和の里さんに感謝♪



## 課題別会議

### わかりやすい情報部会

大好評の「福祉サービスガイドブック」を平成27年4月版として改訂いたしました。今回のカラー印刷・製本は、福祉就労ワーキングにお願いし、ワークハウスアダージョさんで250部作成していただきました。「福祉サービスガイドブック」「事業所一覧（随時改訂）」ともに、きらりあにて配布しておりますので、ぜひ、ご活用ください。

### 福祉就労ワーキング

今回初めての試みとして、表紙でも紹介させてもらった全体会の昼休憩に、9事業所が販売で参加しました。出席されたみなさんにも大変好評でした。事業所からも「関係機関のみなさんと交流が持てた」「他の事業所の製品に刺激を受けた」などのご意見をいただきました。

日赤看護大学から依頼があった、 कांग्रेसバッグの作成については、6事業所で取組んできました。事業所毎にデザインも違い、それぞれの個性あふれるものができあがり、10月に納品しました。大学からは「とても良いものをありがとうございます」と喜びの声をいただきました。



### 特別支援学校卒業生ワーキング

8月24日（月）に特別支援学校卒業生ワーキングを開催しました。参加者は、市内通所系事業所10か所（新規開所予定の事業所を含む）、特別支援学校2校（廿日市市在住の生徒が在籍する学校）、事務局含む関係機関4機関、オブザーバーとして市外事業所1か所でした。



第1部では各事業所・学校の情報共有を行い、第2部では廿日市特別支援学校と、関係する事業所・機関のみで進路調整を行いました。

## 発達支援部会

7月23日（木）に発達支援部会を開催し、今年度の取り組みについて協議しました。昨年度に引き続き、ポジティブライフガイドの配布、「心をつなぐサポートファイル結愛」の普及啓発を行います。また、部会としては初めて、障害児相談支援事業所を対象とした研修会を開催予定です。

## 長期入院解消プロジェクト

長期入院されている人に地域の事を知ってもらおうと、院内茶話会を友和病院で行いました。事前に病院のスタッフからの声掛けもあり、23人の当事者と27人のスタッフの参加がありました。まず、福祉サービスと地域の相談員として相談支援専門員や保健師を顔写真入りで紹介してもらいました。その後、2つのグループに分かれ「入院生活の事」「将来の事」「地域生活を送る上での不安」など自由に付箋に書きながら意見交換を行いました。

院内茶話会については、今後も継続して行っていく予定です。

## 余暇活動支援ワーキング

今年度の取り組みの柱は、「みやじま丸 de クルージング」「障がい者スポーツ体験会」「カローリング交流会」の3本です。JR西日本宮島フェリー(株)さんのご協力により、今年で3回目となった「みやじま丸 de クルージング」は、7月31日（金）に開催しました。午前・午後を合わせ、207人のみなさんが快適な船旅を楽しまれました。このたびは、医療的ケアが必要な子どもさんたちが、医療スタッフのみなさんと乗船。「5年越しの夢だった宮島へのお出かけが、形を変えて実現できてうれしかった！」という声をいただきました。

## 訪問介護事業所連絡会

7月27日（月）はスポーツレクリエーション（カローリング、ピンボーリング等）を行いました。参加人数は少なかったですが、勝負に真剣に取り組みながらも、楽しい時間が過ごせました。

秋から冬にかけて、救命講習、なちゅは介護セミナーの開催を企画しています。講習、セミナーを通して、緊急時の対応やケアされる側、ケアする側双方にとって負担の少ない介護技術を身につけられたらと思っています。



## 相談支援部会

平成27年7月現在の廿日市市内のサービス等利用計画作成率は、約97%と数字的には順調に推移しています。ただ、制度上の課題から、相談支援事業所の運営は厳しく、相談支援専門員のみなさんの抱える課題はなかなか解決に至っていないのも現状です。

相談支援部会では、お互いのスキルを高め合い、自信を持って計画相談業務にあたるよう、今年度も毎月1回定例会を開催し、学習、グループワーク、情報交換等を行なっています。



## 権利擁護ワーキング

今年度もはつかいち福祉ねっとのみなさん対象に、権利擁護に関する研修会を企画します。今年度のテーマは、「障がい者虐待について」「障害者差別解消法について」です。研修会の詳細が決まりましたら、ご案内させていただきます。みなさん、ふるってご参加ください。

## 防災プロジェクト

9月18日（金）、はつかいち福祉ねっととしては初めてあいプラザの消防訓練に参加しました。今回の参加は事務局も合わせて28人でした。

最初に消防署の方から注意事項などの説明を受け、障がい別会議ごとに別室に移動し、そこから避難行動を行いました。その後、水消火器を使用しての消火訓練、あいプラザ館内の設備の確認を行いました。普段利用しているあいプラザですが、避難スロープや防火扉など、知らない設備なども多く、参加された方からは「初めて避難スロープを利用してみて良かった」「次回は他の人と一緒に参加できれば」などの声がありました。

## 障がい別会議リレーずいそう No. 7

私はグループホームエスペランサにいる吉井真由美です。私は友和病院にいて20年間入院して、とても苦しい想いをしたり、悲しい想いをしたことがありました。でも、私は病院のケースワーカーさんのことを、心の中ではいつか退院をさせてくれることを信じていました。たくさんのスタッフ、主治医、病棟師長、総婦長、エスペランサのスタッフ、スペシャルケースワーカー等のおかげで、私は救われました。それから私は自分でどうやって退院できるのかと思った時、そうだ日記を書いてみようと思いました。私の毎日の生活は、掃除をしたり、日記を書いたりしていました。その日記を、先生に見せたりしました。それから、私はどんな時も未来を信じていました。私は自分でなりたかった夢は、ウェイトレスだったから、作業所でウェイトレスができるようになって嬉しかったです。それから、いろんな人と出会えて幸せです。私はこの20年間、NHKの「きょうの料理」や「はなまるマーケット」を見て、レシピをずっと書いたりして、料理を勉強してきました。その中でいろんな料理やデザート、ケーキ、アイスクリーム、ジュースを勉強したりして、本当に今思えば、退院して幸せだなと思いました。その中で、主治医がどれだけ私のことを思ってくれたのかと思い、嬉しかったです。私は1週間に1回、主治医の面接が楽しみで、元気づけてくれたり、ニコッと笑ってくれたり、今日も頑張らなくてはいけないと期待を裏切らないように、しようと努力しています。皆さんも、退院できるように心から祈っています。



「誰からも愛されたい」

画：吉井真由美

日本看護学会・学術集会開催のポスターに採用された絵です。

## ～事業所リレーずいそう～ No.10



皆さんこんにちは。工房ハクナマタタの打海です。  
ピクトハウスの千頭さんからバトンをいただきました。

ハクナマタタは平成20年NPO法人TOMさんのお力添えと数人のボランティアで準備を始め、平成21年1月から地御前のメイン通りに喫茶のような食堂のようなお店をスタートさせました。地御前から一つまたひとつとお店が消えていくなか、地域の中にごくごく自然に、あたりまえのように障害のある人の働く場面があればいい、地域の高齢化、独居の高齢者が増える中そんな

方々の憩いの場となればといいと始めたハクナマタタです。

平成25年にはNPO法人から独立し、廿日市市の地域活動支援センターとしての事業開始届けを提出し今日にいたっております。

また不特定多数（お客様）の方々との関わりが難しい方々の場面をと、2年前に第二ハクナマタタ（作業部門）も開所しました。

開店当初はコーヒー・紅茶・うどんのみで、来られる地域の方々のご要望と働くメンバーの調理の力量とを相談しながらメニューを増やしていきました。春から夏は大野産のあさりを使い秋から冬は地御前かきを使っており、その他の食材も極力国産にこだわって使っています。

かれこれ7年よくやってこれたなあと関わるボランティアもチョットびっくり（笑）

『ハクナマタタ』スワヒリ語で『なんとかなるさ～♪』をモットーに、障害のあるなしに関わらず今を生きる一人ひとりがそれぞれの人生を豊かに歩いていけるよう望み、その一端を担っていければいいなあと思っています。

『INFINITY DREAMS』『無限大の夢』家庭にも学校にも自分の居場所を見い出せない少年達と関わっていた時の活動チーム名です。「インフィニティドリームズ、ズが大事なんよ、夢は一つじゃないけーね」胸に響いた少年の一言です。



みなさんもどうぞ様々な大きな夢を追っかけてくださいね！

次回の事業所リレーずいそう No.11は「PIECE 宮内キャリアサポート」です！